

創造的復興サミットの開催に向けた福島県庁等の訪問

1 概要

阪神・淡路大震災から30年という節目の年となる2025年に、国内外の被災地と連携して「創造的復興サミット」を兵庫県内で開催し、「創造的復興」の理念の共有・発信するにあたり、東日本大震災を経験した福島県庁と飯舘村役場を訪問し、知事や村長と面談を行うとともに、現地での復興状況を確認する。

2 日時・行程（時間は前後することがある）

令和6年5月10日(金)

10:45～11:00

①福島県庁
内堀知事に面談



冒頭のみ報道オープン

正午前～12:20

②飯舘村役場
杉岡村長に面談



報道オープン

14:00～14:50

③飯舘村長泥地区を視察
(再生利用実証事業地※)



報道オープン・囲み取材

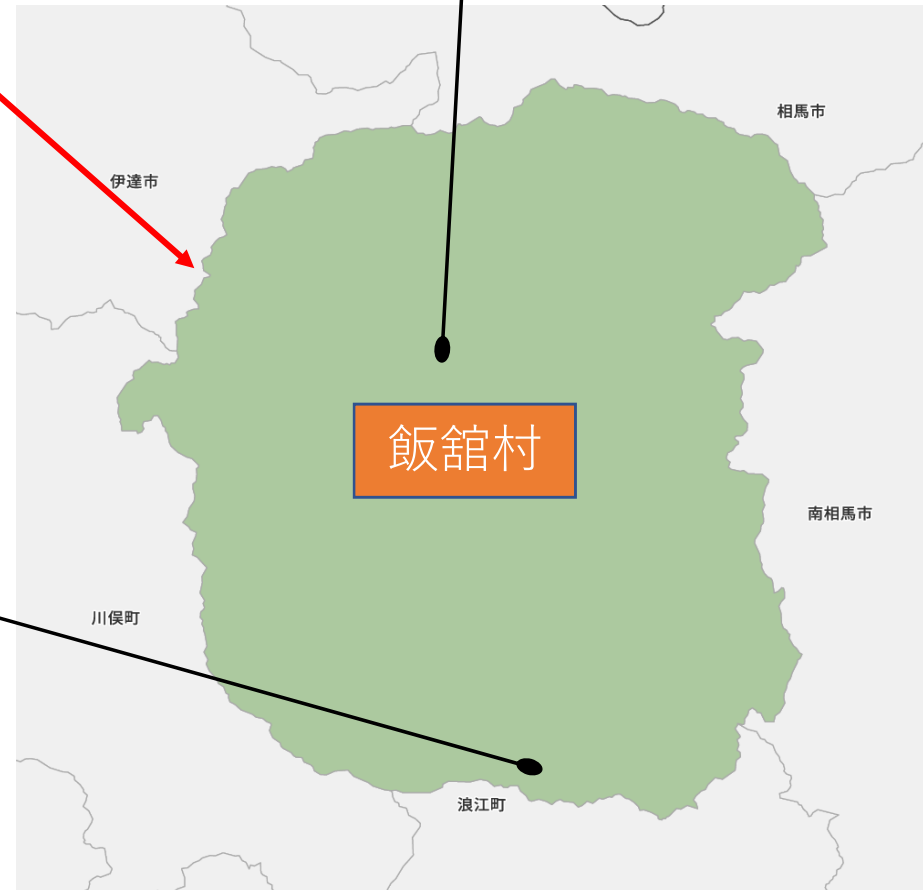
※村内の仮置場から運搬した除去土壌で農地を造成し、その上を土で覆ったうえで米や野菜などを栽培する実証事業を2018年から実施（2025年度の市場出荷を目指す調整中）

3 訪問予定地

①福島県庁



②飯舘村役場



③長泥地区



創造的復興サミット（素案）

～単に災害前の状態に戻すだけでない Build Back Better の概念の提唱～



ひょうごフィールドパビリオン
Our Field, Our SDGs
私たちのフィールド、私たちのSDGs

趣 旨

- ✓ 2025年（大阪・関西万博開催年）は**阪神・淡路大震災から30年**
- ✓ 阪神・淡路で生まれたコンセプト「**創造的復興**」をテーマに、被災地の知事や海外の自治体・関係機関などが意見交換し、世界に向け発信 ※サミットの成果を国連防災枠組に盛り込むこと等を提案

主 催

兵庫県 協力：関西広域連合、経済界（関西経済連合会、兵庫県商工会議所連合会等）

主なメンバー

国内被災地の知事（兵庫、岩手、宮城、福島等（調整中））、市町村長（神戸市、南三陸町、飯舘村等（調整中））
海外の被災自治体等（トルコ、ウクライナ）、関西広域連合長、関経連会長、兵庫県商工会議所連合会会頭等 計20名程度

開催時期

2025年9月20日（土）の午後

※国際防災の日（10/13）に向けた、「創造的復興ウィーク（万博の兵庫県版テーマウィークの1つ）」に位置づけ

開催場所

人と防災未来センター（神戸市）・仮

主な内容

- ・主な国内外の被災地の知事・関係機関等による討議
- ・被災地の高校生による活動報告・提案（午前中の報告会の総括）
- ・兵庫宣言（イニシアチブ）【サミット終了後、共同記者会見】
※翌日、防災関連フィールドパビリオンの視察（自由参加）



人と防災未来センター

ウクライナ



「創造的復興」の理念を活かしたウクライナ支援検討会をR5.3月に設置

トルコ

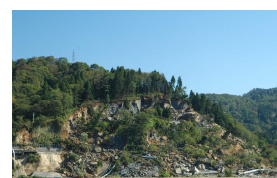


トルコ地震復旧・復興支援プロジェクトをR5.2月に立ち上げ

熊本地震（H28）



能登半島地震（R6）



新潟県中越地震（H16）

熊本

兵庫

石川

新潟

岩手

宮城

福島



阪神・淡路大震災（H7）



東日本大震災（H23）